

# ふくし教育 × 企業研修

ふだんのくらしのしあわせの実現を目指して

ふくし教育を取り入れてみませんか？



佐世保市社会福祉協議会

# ふだんのくらしのしあわせ

～安心して暮らせる地域づくりの“はじめの一步”～

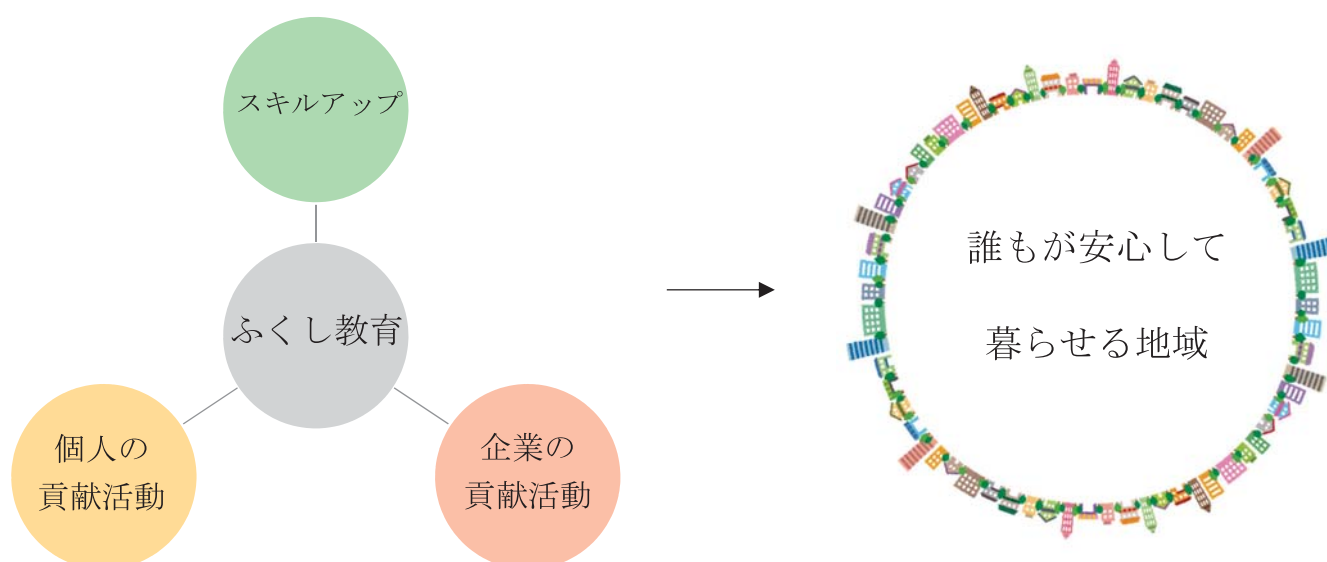
「ふくし」という言葉を聞くと、「障がい者や高齢者」などを思い浮かべるかもしれませんが、「ふくし」は、“ふだんのくらしのしあわせ”ともいわれ、私たち自身が自分の生き方を大切に、周りの人や環境など地域と関わりを持ちながら、自分なりの人生を継続していくという意味があります。

私たちの地域には、子どもから高齢者、障がいのある方や外国籍の方など、様々な方が暮らしています。そうした方々とうまく付き合っていくためには、自分の価値観や考え方に固執するのではなく、「相手の立場を考えること」「お互いの違いを認め合うこと」「相手を理解すること」が大切です。

こうした「ふくし」は、住民と行政、そして福祉活動の様々な担い手の協働によって育まれるものです。企業も住民やボランティア団体などと同様に地域を構成するメンバーであり、「ふくし」の担い手として参加いただくことで、誰もが安心して暮らせる地域の実現に向けて大きな力となります。

佐世保市社会福祉協議会（以下、社協）では、佐世保市内にある企業の皆様と一緒に安心して暮らせる地域をつかっていくために、福祉の制度や統計、高齢者や障がいのある方についての理解、車いすの扱い方などの福祉に関する学びを通して、営業や接客、商品企画などの日常の業務に役立てていただくことを目的に、企業における社員研修の一環として、ふくし教育を推進しています。

また、これらのふくし教育を通して、個人としての地域貢献活動や企業として取り組む地域貢献活動を考えるきっかけとなり、誰もが安心して暮らせる地域を皆様と一緒に目指していきたいと考えています。



# 『共に生きる力』を育む ふくし教育

福祉についての  
知識

人の気持ちに  
共感できる力

実行する力

違いを  
認め合う力

思いやりの力

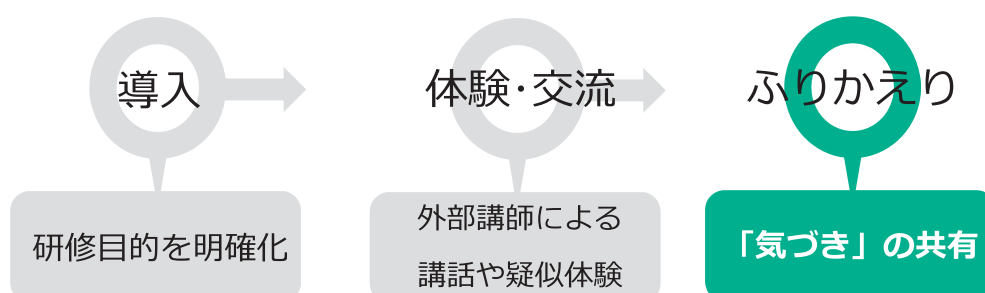
自己肯定感  
自己有用感

## ふくし教育について

ふくし教育は、ふだんの暮らしの中で起こっている身近な福祉の問題について、一人ひとりが関心を持ち、その課題を解決する方法を考え、行動する力を養うことを目的としています。

身近な地域に暮らす、高齢者や障がいのある方を含めた様々な方との関わりを通して、命の尊さや思いやりの心、相手を理解しようとする豊かな心を育み、「共に生きる力」をつけていきます。

## ふくし教育の流れ



### 導入

- ・何を学ぶ研修なのか、目的を明確にします。
- ・事業内容や福祉に関する「出来事」など、身の周りの福祉からテーマを設定します。

### 体験・交流

- ・外部講師を招き、講話や体験を実施し学びを深めます。
- ・講話や体験・交流により多くの「気づき」が生まれます。

### ふりかえり

- ・体験・交流で得た「気づき」を共有します。
- ・新たなふくし教育プログラムの提案を行わせていただきます。



## ふくし教育プログラム

ふくし教育を社協に依頼していただく際の参考として、いくつかプログラムをご紹介します。各プログラムを組み合わせるの実施や本リーフレットに掲載されていない内容につきましても、企業のご相談内容に応じて、個別にコーディネートさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。

### 例 1 プログラム名：障がいのある方を理解しよう！

ねらい 障がいのある方との交流やインタビュー、アイマスク体験などを通して、障がいのある方の日々の困りごとを知り、業務に役立てる。

### 例 2 プログラム名：働く大人の介護実践講座！

ねらい 働く世代の人たちが介護に関する知識や技術を学び、親の介護など家庭での実践に役立てるとともに、将来の仕事と家庭の両立（介護離職にならない）のためのきっかけづくりとする。

### 例 3 プログラム名：佐世保の福祉の現状について知ろう！

ねらい 福祉の現状を知り、支え合いの大切さを考え、個人や企業としてできる貢献活動を考えるきっかけにする。

※その他、ボランティア養成講座、ユニバーサルデザインについてなどのプログラムもございますので、お気軽にお尋ねください。



<SDGs 持続可能な開発目標>

ふくし教育に取り組むことは、福祉の理解を深めることだけでなく、SDGsの達成にもつながっていきます。

幸せな未来の実現に向けて、ふくし教育を通して、今私たちに何ができるのか一緒に考えていきませんか。

### 会社プロフィール

社名：株式会社 共立自動車学校  
場所：佐世保市椎木町 320 番地  
事業内容：自動車学校事業、  
通学免許、合宿免許など

### ふくし教育を取り入れたきっかけ

高齢者講習や高次脳機能障害の方の社会復帰支援など、働く場において福祉と関わる場面があり、正しい知識や理解を得て、福祉の視点を仕事に取り入れていきたいと思ったからです。

### プログラム名：認知症サポーター養成講座

#### ねらい

高齢者や認知症についての理解を深め、高齢者や認知症のある方への接し方や気配りの理解につなげ、業務に役立てる。

#### 内 容

講師による講話  
(①福祉とは ②認知症について)

#### 感 想

福祉は高齢者や障がい者などに対するためだけではなく、幸福や豊かさの意味があることを知り、イメージが変わりました。

ふくし教育を通して、相手を理解し認めようとする気持ちが芽生え、様々な場面で役立っています。



認知症サポーター養成講座

## 社会福祉協議会ができること

### 1. ふくし教育プログラムの企画・提案

○研修時間、社員数などに応じたプログラムの企画と提案

### 2. 講師・協力団体の調整

○講師（障がいのある方、福祉施設、民生委員・児童委員など）の調整

### 3. 福祉用具の準備

○福祉用具（車いす・アイマスクなど）の貸出など

※研修内容によっては講師謝金などの費用が掛かる場合がございます。

## 社会福祉協議会について

社会福祉協議会は、「社協」と略称でも呼ばれており、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。昭和 26 年（1951 年）に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、行政区ごとに組織・設置されております。

社協は、それぞれの都道府県、市区町村で、地域に暮らす皆様のほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加、協力のもと、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指した様々な活動を行っています。

### 社協が行っている主な活動（地域福祉に係るもの）

#### ○支え合い助け合う「まちづくり」を推進する活動

- ・ ボランティアセンターの運営
- ・ 災害ボランティアセンターの設置・運営
- ・ ふくし教育の推進・支援
- ・ 赤い羽根共同募金運動の推進など

#### ○安心して暮らせる「まちづくり」を推進する活動

- ・ いきいきサロン（交流の場）の推進・支援
- ・ 見守りネットワークの推進
- ・ 福祉資金貸付事業
- ・ 困りごと相談・支援
- ・ 福祉人材バンクによる就職支援など

令和 3 年 3 月発行

〔お問い合わせ先〕

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

〒857-0028 佐世保市八幡町 6-1 TEL.0956-23-3174 FAX.0956-23-3175

URL <http://www.sasebo-shakyo.or.jp>

佐世保市社協

検索

